

野生を育む、知床五湖

共生へ、新しい、ふたつの歩き方

平成23年度以降の「知床五湖」の利用について(お知らせ)

知床国立公園最大の観光地、知床五湖では、混雑に伴う植生の踏み荒らし、ヒグマ出没の危険と度重なる地上歩道閉鎖による不安定な運用(平成21年度は全ての地上歩道が使えたのは開園期間214.5日のうち73日のみ)などの課題がありました。

せっかく知床五湖を訪れてもヒグマが出没すると、五湖の自然を楽しむことができない。このような課題を解決し、利用者の皆様に、自然環境を保全しつつ、より安全で、安定的に知床五湖の自然を楽しんでいただけるよう、①安全で自由に利用できる高架木道を新たに整備するとともに、②既存の地上歩道については、一定のルールの下、従来、閉鎖していた期間でも利用できるようにするため自然公園法に基づく利用調整地区の導入を行うことといたしました。

平成23年度より、「新しいふたつの歩き方」を、御希望に合わせて選ぶことができる新たな仕組みがスタートします。もちろん、時間があれば両方をお楽しみいただけます。

① 安全で誰でも、いつでも雄大な自然を楽しめる高架木道(無料です)



(湖畔展望台からの眺望)

② 静かに奥深い自然に触れることのできる地上歩道(立入認定手続きが必要な時期があります。認定にはレクチャーの受講と立入認定手数料が必要となります)



●ヒグマ活動期(5/10～7/31)

ヒグマが活発に活動する時期は、登録引率者が同行するツアーを利用させていただきます。

●植生保護期(8/1～10/20)

立入認定手続きを行えば、登録引率者の同行無しでも利用できます。

*立入認定手数料などの詳細は「知床五湖の利用のあり方協議会」にて検討中です。9月頃に決定する予定です。

高架木道

従来、ヒグマが出没すると地上歩道が閉鎖となり、せっかく訪れても、一つの湖すら見ることのできないことのある「知床五湖」。その知床五湖が高架木道の全面供用開始(平成 22 年 4 月～)で大きく生まれ変わりました。

3カ年、総事業費8億円をかけて整備された高架木道は、今年の春、1湖の湖畔まで延長され、全長約800mとなりました。高架木道は地上からの高さを取るとともに、電気柵を備えており、ヒグマの出没に影響されずに安全・快適に利用することができます。

しかも、湖越しに羅臼岳から硫黄山まで知床連山の全ての山々が連なって見える絶景は、知床五湖の中でも、この高架木道の湖畔展望台以外では見られません。さらに、高架木道上は、広大な草原の中で、悠然と暮らす野生動物の姿とともに、遙かに広がるオホーツク海を見渡すこともできます。全く新たな絶景の地、高架木道を是非ご利用ください！

なお、この高架木道は、利用調整地区には含まれておらず、開園時間内であれば、人数の制約なく誰でも自由に、そして無料で利用できます。(別途駐車場料金が必要です。)

○ 3ヶ所の展望台を設置



湖畔展望台

往復約40分(往復1.6km)



オコツク展望台

往復約30分(往復1.0km)



連山展望台

往復約15分(往復0.5km)



- 湖畔展望台まで車いすの利用が可能です



地上歩道

利用調整地区に指定される地上歩道は、平成 23 年度より、植生保護やヒグマとの共存のための一定の利用ルールの下、より深い自然体験のできる場所に生まれ変わります。

時期により、ヒグマ対策のための引率者の同伴の要否や、利用できる地上歩道の範囲、順路が変わりますのでご注意ください。

◆ヒグマ活動期 (5/10 ~ 7/31)



登録引率者が同行するツアーにより、今まで閉鎖されることが多かった時期の地上歩道を楽しむことができます。

- 登録引率者は、ヒグマ対処法や環境保全の知識と技術を習得しています。
- ツアーに参加するためには、登録引率者の事前予約が必要です。
- 立入前に知床五湖フィールドハウスにて事前レクチャーを行います。
- ツアー参加料(立入認定手数料+ガイド料)が必要となります。
- 1ツアーの定員は11名です。(登録引率者を含め)
- ツアーは15分毎に一団体ずつ出発します。

* ツアーはヒグマとの遭遇を目的とするものではありません。
* 高架木道の往復利用は無料で、手続き・事前レクチャーなしで楽しめます。

◆植生保護期 (8/1 ~ 10/20)



森と湖を巡る地上歩道から、知床連山を望む高架木道へ抜け、深い自然と広い景色を一度に両方楽しむことができます。

- 登録引率者が同行しなくても立ち入ることができます。
- 立入前に知床五湖フィールドハウスにおいて立入認定の手続きが必要です。
- 立入認定手続き後、事前レクチャーを行います。
- 立入認定手数料が必要となります。
- レクチャーは1回につき50人以内で10分ごとに実施します。

* 地上歩道⇒高架木道の一方通行です。

* 高架木道の往復利用は、無料で、手続き・事前レクチャーなしで楽しめます。

◆自由利用期 (10/21 ~ 閉園(11月下旬))

* 植生保護期と同じルートが利用できます。

* 立入認定の手続きは不要で、自由に散策できます(無料)。